

カンボジア王国

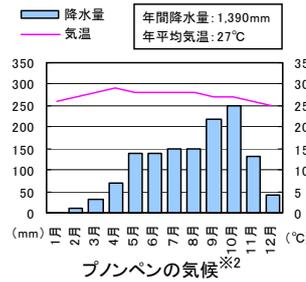
Kingdom of Cambodia

■基本情報

国土面積：181,040km² ※1

首都：プノンペン

気候：熱帯モンスーン



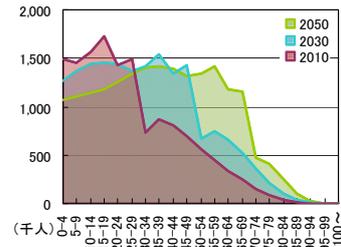
■社会の概況

人口：1,431万人(2011)※1 都市人口比率：20%(2011)※1

貧困率(1日\$1.25以下)：22.8%(2008)※1

就学率(中等教育)：46.6%(総就学率・2011)※1

識字率(15歳以上)：73.9%(2009)※1



■経済の概況

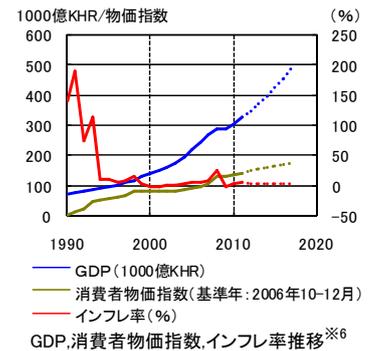
2004年~2007年まで2ケタの経済成長を記録したが、その後、インフレ、世界経済危機等に伴い2009年にはマイナス成長となった。2011年の成長率は6.93%を記録しており、再び成長を維持している。

GDP：8,436百万ドル(2011)※1 1人当たりGDP：590ドル(2011)※1

GDP成長率：6.93%(2011)※1 所得格差(ジニ係数)：37.9(2008)※1

失業率：1.7%(2008)※1 主要産業：農業、縫製業、建設業、観光業※4

対日関係：日系進出企業数は96社(2012年9月時点)※5



	日本との貿易額(2010年) (単位:億円) ※4	品目※4
対日輸出	約182	靴等、衣類及び付属品
対日輸入	約140	小型船舶、車輛・部品、機械(縫製用機械等)

■水資源の状況

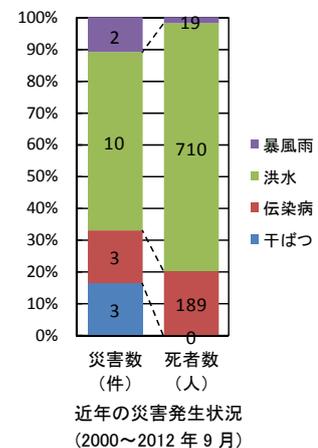
カンボジアでは、メコン河が北から南に約480kmの距離を縦断しており、カンボジアの国土の約86%はメコン河流域にある。残りの14%の流域の河川はタイ湾に注いでいる。災害に関しては洪水の発生件数が比較的多く、近年では2011年8月~11月洪水において5億ドルを超える被害が発生した。

水資源の状況※7

	カンボジア	【参考】日本
年間降水量	1,904mm/年 (2011)	1,668mm/年 (2011)
水資源賦存量	476.1km ³ /年 (2011)	430km ³ /年 (2011)
地表水	471.5km ³ /年 (2011)	420km ³ /年 (2011)
地下水	17.6km ³ /年 (2011)	27km ³ /年 (2011)
1人当たり水資源賦存量	33,282m ³ /人・年 (2011)	3,399m ³ /人・年 (2011)
取水量	2.184km ³ /年 (2005)	90.04km ³ /年 (2001)
農業	94% (2005)	63.13% (2001)
工業	1.511% (2005)	17.55% (2001)
水道	4.487% (2005)	19.32% (2001)
1人当たり水使用量	159.8m ³ /人・年 (2005)	714.3m ³ /人・年 (2001)
水資源への負荷※1	0.4587% (2005)	20.93% (2001)
水資源の他国依存度※2	74.67% (2011)	0% (2011)

注1：淡水取水量(取水量-造水量-二次利用水)÷水資源賦存量 注2：国外から得ている水資源賦存量の割合

災害発生状況※8



■上下水道の状況

改善された水供給と衛生施設へのアクセス率は、都市部では比較的高いものの、農村部ではいまだ低い水準となっている。2011年の上水道、下水道の普及率は1割台にとどまる。今後の上下水道整備に伴い、2010年から2016年で上下水道市場規模は49%増となる見込み。

改善された水供給へのアクセス率：64%(都市：87%)(2010)^{※9}

改善された衛生施設へのアクセス率：31%(都市：73%)(2010)^{※9}

上水道普及率：14.0%^{※10}

下水道普及率：11.0%^{※10}

上水道管路延長：1,900km^{※10}

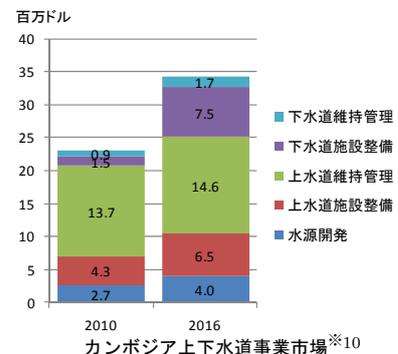
下水道管路延長：150km^{※10}

上水道民間参入率：1%(2011)^{※11}

下水道民間参入率：0%(2011)^{※11}

造水量：-km³/年^{※7}

上下水道に関する市場規模：23.1百万ドル(2010)^{※10}



■水関連法制度・計画

水資源の開発・管理は、水資源気象庁が所管する。このほか、カンボジア国内メコン委員会が組織されており、メコン川及びその支流に関する関連省庁機関との調整等を行うほか、メコン川委員会と国際委員会との連携を促す役割を負っている。

水に関する行政機関：水資源気象省 (MoWRAM；水資源管理・開発、洪水・渇水対策等)、環境省 (MoE；水環境、排水規制等)、鉱工業エネルギー省 (MIME；州都及び中小規模市町村の水道事業)、農村開発省 (MRD；共同栓事業等) 等がある。このほか、メコン川流域管理の機関としてカンボジア国内メコン委員会、トンレ・サップ川流域における管理・保全・開発の調整機関としてトンレ・サップ川 (Tonle Sap River) 流域局が組織されている。

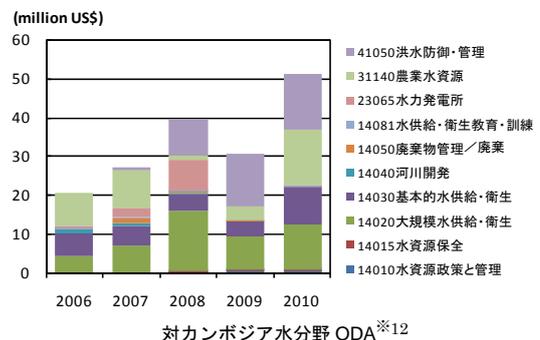
政策・計画：

・水資源管理法 (Law on Water Resources Management, 2007) により表流水と地下水の両者を含めた水資源管理、水利用コミュニティや洪水管理に関して規定している。

・国家水資源政策 (National Water Resources Policy, 2004年) では、効果的な水資源管理のため、河川流域管理・開発、淡水資源の適切な開発・管理等について定めている。

水分野のODA：2006～2010年の水分野ODA総額は拠出ベースで1.70億ドル。うち、日本は49%でトップ。

主要分野：大規模な上下水道整備プロジェクト、洪水防御・管理プロジェクト、農業関連水資源プロジェクト^{※12}



■水ビジネスに関する制度

カンボジア政府はインフラ分野におけるPPPによる民間資金活用を奨励しており、2007年コンセッション法において対象分野、契約形態及び手続きについて規定している。

水ビジネスPPP関連制度：

政府は民間資本によるプロジェクトの実施を奨励しており、2007年コンセッション法においてインフラ分野をコンセッション契約の対象分野と定め、その契約形態や手続きについて示している。

・コンセッション法 (2007年, Law on Concession)

二国間協定等：

2011年12月：北九州市及びカンボジア国鉱工業エネルギー省による主要9都市の水道基本計画策定に関する覚書の締結

出典

※1) 世界銀行 World Development Index

※2) Weather base

※3) 国連 World Population Prospects, the 2010 Revision

※4) 外務省国・地域別情報

※5) 日本貿易振興機構(JETRO) 基礎データ

※6) IMF World Economic Outlook Database

※7) FAO AQUASTAT

※8) EM-DAT: The OFDA/CRED International Disaster Database

※9) UNICEF & WHO Progress on Drinking Water and Sanitation 2012 Update

※10) Global Water Intelligence, Global Water Market 2011

※11) Pinstent Masons Water Yearbook 2011-2012

※12) OECD Stat